

表 57-3 家族・親戚の犠牲者の有無

DSM-IV アルコール依存（現在）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	229	95.0	12	5.0	241
犠牲者なし	597	96.1	24	3.9	621
女性					
犠牲者あり	347	98.9	4	1.1	351
犠牲者なし	756	99.0	8	1.1	764

表 57-4 仕事の変化

DSM-IV アルコール依存（現在）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	56	93.3	4	6.7	60
関係なく退職	56	96.6	2	3.5	58
変化なし	256	97.0	8	3.0	264
女性					
震災で失業	90	98.9	1	1.1	91
関係なく退職	41	100.0	0	0	41
変化なし	502	99.4	3	0.6	505

表 57-5 家屋損壊の有無との関連

	DSM-IV アルコール依存 (過去)				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	584	95.6	27	4.4	611
損壊なし	239	95.2	12	4.8	251
女性					
損壊あり	805	99.5	4	0.5	809
損壊なし	303	99.0	3	1.0	306

表 57-6 住居との関連

	DSM-IV アルコール依存 (過去)				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	386	94.4	23	5.6	409
仮設住宅	426	96.4	16	3.6	442
女性					
震災前と同じ	524	99.1	5	1.0	529
仮設住宅	571	99.7	2	0.4	573

表 57-7 家族・親戚の犠牲者の有無

	DSM-IV アルコール依存（過去）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	228	94.6	13	5.4	241
犠牲者なし	595	95.8	26	4.2	621
女性					
犠牲者あり	351	100.0	0	0	351
犠牲者なし	757	99.1	7	0.9	764

表 57-8 仕事の変化

	DSM-IV アルコール依存（過去）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	57	95.0	3	5.0	60
関係なく退職	56	96.6	2	3.5	58
変化なし	254	96.2	10	3.8	264
女性					
震災で失業	91	100.0	0	0	91
関係なく退職	40	97.6	1	2.4	41
変化なし	503	99.6	2	0.4	505

表 57-9 家屋損壊の有無との関連

	DSM-IV アルコール乱用（現在）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	606	99.2	5	0.8	611
損壊なし	246	98.0	5	2.0	251
女性					
損壊あり	808	99.9	1	0.1	809
損壊なし	305	99.7	1	0.3	306

表 57-10 住居との関連

	DSM-IV アルコール乱用（現在）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	404	98.8	5	1.2	409
仮設住宅	437	98.9	5	1.1	442
女性					
震災前と同じ	527	99.6	2	0.4	529
仮設住宅	573	100.0	0	0	573

表 57-11 家族・親戚の犠牲者の有無

	DSM-IV アルコール乱用（現在）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	237	98.3	4	1.7	241
犠牲者なし	615	99.0	6	1.0	621
女性					
犠牲者あり	351	100.0	0	0	351
犠牲者なし	762	99.7	2	0.3	764

表 57-12 仕事の変化

	DSM-IV アルコール乱用（現在）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	60	100.0	0	0	60
関係なく退職	56	96.6	2	3.5	58
変化なし	261	98.9	3	1.1	264
女性					
震災で失業	91	100.0	0	0	91
関係なく退職	41	100.0	0	0	41
変化なし	505	100.0	0	0	505

表 57-13 家屋損壊の有無との関連

	DSM-IV アルコール乱用（過去）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	555	90.8	56	9.2	611
損壊なし	228	90.8	23	9.2	251
女性					
損壊あり	798	98.6	11	1.4	809
損壊なし	303	99.0	3	1.0	306

表 57-14 住居との関連

	DSM-IV アルコール乱用（過去）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	370	90.5	39	9.5	409
仮設住宅	402	91.0	40	9.1	442
女性					
震災前と同じ	519	98.1	10	1.9	529
仮設住宅	569	99.3	4	0.7	573

表 57-15 家族・親戚の犠牲者の有無

DSM-IV アルコール乱用（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	226	93.8	15	6.2	241
犠牲者なし	557	89.7	64	10.3	621
女性					
犠牲者あり	349	99.4	2	0.6	351
犠牲者なし	752	98.4	12	1.6	764

表 57-16 仕事の変化

DSM-IV アルコール乱用（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	53	88.3	7	11.7	60
関係なく退職	52	89.7	6	10.3	58
変化なし	240	90.9	24	9.1	264
女性					
震災で失業	90	98.9	1	1.1	91
関係なく退職	40	97.6	1	2.4	41
変化なし	501	99.2	4	0.8	505

表 58-1 睡眠薬使用頻度と家屋損壊の有無

	睡眠薬使用の頻度										合計
	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
損壊あり	517	90.9	12	2.1	4	0.7	6	1.1	30	5.3	569
損壊なし	226	95.0	2	0.8	3	1.3	0	0	7	2.9	238
女性											
損壊あり	637	71.3	22	2.9	18	2.4	15	2.0	67	8.8	759
損壊なし	257	88.6	9	3.1	5	1.7	3	1.0	16	5.5	290

表 58-2 住居との相関

	睡眠薬使用の頻度										合計
	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
震災前と同じ	360	93.8	5	1.3	3	0.8	1	0.3	15	3.9	384
仮設住宅	373	90.3	9	2.2	4	1.0	5	1.2	22	5.3	413
女性											
震災前と同じ	448	88.7	15	3.0	10	2.0	6	1.2	26	5.2	505
仮設住宅	435	81.8	16	3.0	13	2.4	12	2.3	56	10.5	532

男性； $\chi^2 = 4.5$, $p = 0.3476$ 、女性； $\chi^2 = 12.9$, $p = 0.0118$

表 58-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	睡眠薬使用の頻度										合計
	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
犠牲者あり	201	88.9	8	3.5	1	0.4	5	2.2	11	4.9	226
犠牲者なし	542	93.3	6	1.0	6	1.0	1	0.2	26	4.5	581
女性											
犠牲者あり	278	83.0	13	3.9	6	1.8	7	2.1	31	9.3	335
犠牲者なし	616	86.3	18	2.5	17	2.4	11	1.5	52	7.3	714

表 58-4 仕事の変化

	睡眠薬使用の頻度										合計
	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
震災で失業	48	87.3	4	7.3	0	0	0	0	3	5.5	55
関係なく退職	54	94.7	0	0	0	0	1	1.8	2	6.7	57
変化なし	206	85.8	5	2.1	2	0.8	2	0.8	25	10.4	240
女性											
震災で失業	67	81.7	3	3.7	4	4.9	3	3.7	5	6.1	82
関係なく退職	37	92.5	0	0	0	0	1	2.5	2	5.0	40
変化なし	374	79.7	14	3.0	13	2.8	8	1.7	60	12.8	469

FTND 点数

表 59-1 家屋損壊の有無との関連

	FTND				合計
	7 点以上		7 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	34	5.9	538	94.1	572
損壊なし	12	5.1	224	94.9	236
女性					
損壊あり	14	1.8	751	98.2	765
損壊なし	1	0.3	289	99.7	290

表 59-2 住居との関連

	FTND				合計
	7 点以上		7 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	16	4.1	371	95.9	387
仮設住宅	30	7.3	381	92.7	411
女性					
震災前と同じ	3	0.6	503	99.4	506
仮設住宅	12	2.2	525	97.8	537

男性 ; $\chi^2 = 3.7$, $p = 0.0552$, 女性 ; $\chi^2 = 5.0$, $p = 0.0260$

表 59-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	FTND				合計
	7 点以上		7 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	15	6.6	211	93.4	226
犠牲者なし	31	5.3	551	94.7	582
女性					
犠牲者あり	2	0.6	336	99.4	338
犠牲者なし	13	1.8	704	98.2	717

表 59-4 仕事の変化

	FTND				合計
	7 点以上		7 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	3	5.4	53	94.6	56
関係なく退職	5	8.9	51	91.1	56
変化なし	12	4.9	232	95.1	244
女性					
震災で失業	3	3.6	81	96.4	84
関係なく退職	0	0	40	100.0	40
変化なし	6	1.3	467	98.7	473

男性 ; $\chi^2 = 6.8, p = 0.0338$

TDS 点数

表 60-1 家屋損壊の有無との関連

	TDS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	94	15.4	517	84.6	611
損壊なし	46	18.3	205	81.7	251
女性					
損壊あり	61	7.5	748	92.5	809
損壊なし	10	3.3	296	96.7	306

男性 ; $\chi^2 = 1.1$, $p = 0.2873$, 女性 ; $\chi^2 = 6.8$, $p = 0.0091$

表 60-2 住居との関連

	TDS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	60	14.7	349	85.3	409
仮設住宅	79	17.9	363	82.1	442
女性					
震災前と同じ	19	3.6	510	96.4	529
仮設住宅	51	8.9	522	91.1	573

男性 ; $\chi^2 = 1.6$, $p = 0.2066$, 女性 ; $\chi^2 = 13.0$, $p = 0.0003$

表 60-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	TDS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	45	18.7	196	81.3	241
犠牲者なし	95	15.3	526	84.7	621
女性					
犠牲者あり	26	7.4	325	92.6	351
犠牲者なし	45	5.9	719	94.1	764

表 60-4 仕事の変化

	TDS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	5	8.3	55	91.7	60
関係なく退職	7	12.1	51	87.9	58
変化なし	33	12.5	231	87.5	264
女性					
震災で失業	7	7.7	84	92.3	91
関係なく退職	5	12.2	36	87.8	41
変化なし	24	4.8	481	95.3	505

男性 ; $\chi^2 = 6.8, p = 0.0338$

IAT 点数

表 61-1 家屋損壊の有無との関連

	IAT				合計
	40 点以上		40 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	14	2.4	569	97.6	583
損壊なし	12	5.0	227	95.0	239
女性					
損壊あり	7	0.9	767	99.1	774
損壊なし	7	2.4	285	97.6	292

男性 ; $\chi^2 = 3.8$, $p = 0.0513$, 女性 ; $\chi^2 = 3.6$, $p = 0.0562$

表 61-2 住居との関連

	IAT				合計
	40 点以上		40 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	20	5.1	371	94.9	391
仮設住宅	5	1.2	416	98.8	421
女性					
震災前と同じ	9	1.8	503	98.2	512
仮設住宅	5	0.9	537	99.1	542

男性 ; $\chi^2 = 10.5$, $p = 0.0012$, 女性 ; $\chi^2 = 1.4$, $p = 0.2364$

表 61-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	IAT				合計
	40 点以上		40 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	4	1.7	226	98.3	230
犠牲者なし	22	3.7	570	96.3	592
女性					
犠牲者あり	1	0.3	339	99.7	340
犠牲者なし	13	1.8	713	98.2	726

表 61-4 仕事の変化

	IAT				合計
	40 点以上		40 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	2	3.5	55	96.5	57
関係なく退職	0	0	57	100.0	57
変化なし	1	0.4	247	99.6	248
女性					
震災で失業	0	0	86	100.0	86
関係なく退職	2	5.0	38	95.0	40
変化なし	2	0.4	475	99.6	477

男性 ; $\chi^2 = 6.0$, $p = 0.0497$ 、女性 ; $\chi^2 = 12.4$, $p = 0.0020$

SOGS 点数

表 62-1 家屋損壊の有無との関連

	SOGS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	73	12.0	538	88.1	611
損壊なし	28	11.2	223	88.8	251
女性					
損壊あり	18	2.2	791	97.8	809
損壊なし	5	1.6	301	98.4	306

表 62-2 住居との関連

	SOGS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	44	10.8	365	89.2	409
仮設住宅	57	12.9	385	87.1	442
女性					
震災前と同じ	9	1.7	520	98.3	529
仮設住宅	13	2.3	560	97.7	573

表 62-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	SOGS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	30	12.5	211	87.6	241
犠牲者なし	71	11.4	550	88.6	621
女性					
犠牲者あり	2	0.6	349	99.4	351
犠牲者なし	21	2.8	743	97.3	764

男性 ; $\chi^2 = 0.2$, $p = 0.6775$ 、女性 ; $\chi^2 = 5.7$, $p = 0.0174$

表 62-4 仕事の変化

	SOGS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	6	10.0	54	90.0	60
関係なく退職	5	8.6	53	91.4	58
変化なし	27	10.2	237	89.8	264
女性					
震災で失業	2	2.2	89	97.8	91
関係なく退職	2	4.9	39	95.1	41
変化なし	6	1.2	499	98.8	505

BDEPQ 点数

表 63-1 家屋損壊の有無との関連

	BDEPQ				合計
	23 点未満		23 点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	543	98.2	10	1.8	553
損壊なし	228	98.3	4	1.7	232
女性					
損壊あり	665	95.6	31	4.5	696
損壊なし	272	97.5	7	2.5	279

表 63-2 住居との関連

	BDEPQ				合計
	23 点未満		23 点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	371	98.2	7	1.9	378
仮設住宅	390	98.2	7	1.8	397
女性					
震災前と同じ	469	97.7	11	2.3	480
仮設住宅	457	94.6	26	5.4	483

男性 ; $\chi^2 = 0.0$, $p = 0.9262$ 、女性 ; $\chi^2 = 6.2$, $p = 0.0126$

表 63-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	BDEPQ				合計
	23 点未満		23 点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	215	97.3	6	2.7	221
犠牲者なし	556	98.6	8	1.4	564
女性					
犠牲者あり	287	95.7	13	4.3	300
犠牲者なし	650	96.3	25	3.7	675

表 63-3 仕事の変化

	BDEPQ				合計
	23 点未満		23 点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	52	98.1	1	1.9	53
関係なく退職	55	100.0	0	0	55
変化なし	219	94.8	12	5.2	231
女性					
震災で失業	69	95.8	3	4.2	72
関係なく退職	35	100.0	0	0	35
変化なし	408	94.7	23	5.3	431

被災地のアルコール問題の調査と介入に関する研究

分 担 研 究 者

村 上 優

国立病院機構 琉球病院

研究要旨

大災害後の被災地では、中長期的にアルコール問題が顕在化すると指摘されている。被災地支援者の多量飲酒者やアルコール依存症に対する介入スキルの向上は、被災地のアルコール問題の顕在化を防止することに繋がるため、被災地支援者のニーズも高く、その必要性も高い。

本研究は被災地支援者のアルコール問題の介入スキル向上を目的としている。岩手県宮古市の特定健診の結果を用い多量飲酒者のスクリーニングを行い、対象群に対し特定保健指導や結果説明会でブリーフインターベンションを行う計画である。本研究班ではアルコール問題のブリーフインターベンションに関するツールやマニュアルを作成し、実際に被災地支援者が使用し、効果判定を行う計画である。

研究協力者（五十音順）

国立病院機構 琉球病院

安里明友美 看護師

大鶴卓 医師

中井美紀 医師

野村れいか 臨床心理士

福田貴博 医師

スキルが乏しい現状がある。また、被災地のアルコール問題は、喪失体験や将来への不安等のために抑うつ傾向を併存する特徴が示唆されており、アルコール問題とともに抑うつ傾向に対しても同時に介入が必要な例もある。

本研究班では被災地の多量飲酒者に対し、ブリーフインターベンションを行うことで飲酒量低減を目標としている。ブリーフインターベンションは被災地の支援者が継続して行う必要があるため、本研究班で介入モデルやマニュアルを開発し、そのスキルを移譲することを最終目標とする

A. 研究目的

阪神・淡路大震災後のこころのケアでは、中長期的なアルコール問題の顕在化が指摘された。今回の東日本大震災でも、中長期的にはアルコール問題が顕在化すると考えられている。アルコール問題が深刻化する前の早期介入は、その後の問題の顕在化を減少させるためには必要である。しかし、被災地のこころのケアの実際は、アルコール問題の評価はできても、その介入法やス

B. 研究方法

岩手県宮古市保健センターが行う特定健診のデータを基に多量飲酒者のスクリーニングを用い介入群を選定し、AUDIT や面